



2019年6月17日

各位

会社名 神奈川中央交通株式会社
 代表者名 取締役社長 堀 康紀
 (コード番号 9081 東証第1部)
 問合せ先 総務部長 福原 賢浩
 (TEL 0463-22-8800)

(訂正)「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2019年4月25日に公表いたしました「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。数値データについては、訂正はありません。なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

また、同日に公表いたしました「2019年3月期 決算説明資料」につきましても併せて訂正いたします。

記

1. 訂正理由

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正等を2019年3月期の期首から適用しておりますが、2018年3月期に係るセグメント資産が適用前の数値であったため、当該会計基準等を遡って適用した後の数値に訂正を行うものであります。

2. 訂正箇所

(1)「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」

添付資料 18 ページ (セグメント情報)「3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報」の前連結会計年度の「セグメント資産」に関する記載

【訂正前】

前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他の事業 (注1)	計	調整額 (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	一般旅客 自動車 運送事業	不動産事業	自動車 販売事業				
セグメント資産	59,355	42,615	16,823	33,014	151,809	△ 1,663	150,145

【訂正後】

前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他の事業 (注1)	計	調整額 (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	一般旅客 自動車 運送事業	不動産事業	自動車 販売事業				
セグメント資産(注4)	58,787	42,615	16,823	32,970	151,197	△ 1,663	149,533

(注) 4. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を2019年3月期の期首から適用しており、2018年3月期に係るセグメント資産については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

(2)「2019年3月期 決算説明資料」

以下のページにおける2018年3月期の資産および2019年3月期との比較増減の数値

- ①11 ページ 「セグメント情報 (一般旅客自動車運送事業)」
- ②14 ページ 「セグメント情報 (その他の事業)」

【訂正前】

セグメント情報（一般旅客自動車運送事業）						Kanachu	
単位：百万円							
	2019年3月期	2018年3月期	増減	摘要	2019年3月期 業績予想 (2018年4月公表値)	増減	
売上高	59,249	59,474	△ 224 (△ 0.4%)	乗合業 +332 貸切業 +24 乗用業 △581	60,010	△ 760 (△ 1.3%)	
営業利益	2,838	2,687	150 (5.6%)	乗合業 +71 貸切業 +22 乗用業 +56	2,250	588 (26.1%)	
資産	60,036	59,355	680				
減価償却費	4,541	4,522	19				
減損損失	-	2	△ 2				
資本的支出	5,838	6,337	△ 499				

【対前年】
売上高は、乗合業において輸送人員が増加したものの、乗用業において乗務員不足により稼働が減少し減収。
営業利益は、原油高の影響により燃料費が増加したものの、乗合業の増収に加え人件費の減少などにより増益。

※参考 乗合業輸送人員 単位：百万人

	2019年3月期	2018年3月期	増減率	摘要
定期外	181	181	△ 0.2%	
定期	66	64	3.2%	
合計	247	245	0.7%	

11

【訂正後】

セグメント情報（一般旅客自動車運送事業）						Kanachu	
単位：百万円							
	2019年3月期	2018年3月期	増減	摘要	2019年3月期 業績予想 (2018年4月公表値)	増減	
売上高	59,249	59,474	△ 224 (△ 0.4%)	乗合業 +332 貸切業 +24 乗用業 △581	60,010	△ 760 (△ 1.3%)	
営業利益	2,838	2,687	150 (5.6%)	乗合業 +71 貸切業 +22 乗用業 +56	2,250	588 (26.1%)	
資産	60,036	58,787	1,248				
減価償却費	4,541	4,522	19				
減損損失	-	2	△ 2				
資本的支出	5,838	6,337	△ 499				

【対前年】
売上高は、乗合業において輸送人員が増加したものの、乗用業において乗務員不足により稼働が減少し減収。
営業利益は、原油高の影響により燃料費が増加したものの、乗合業の増収に加え人件費の減少などにより増益。

※参考 乗合業輸送人員 単位：百万人

	2019年3月期	2018年3月期	増減率	摘要
定期外	181	181	△ 0.2%	
定期	66	64	3.2%	
合計	247	245	0.7%	

11

【訂正前】

セグメント情報（その他の事業）						Kanachu	
単位：百万円							
	2019年3月期	2018年3月期	増減	摘要	2019年3月期 業績予想 (2018年4月公表値)	増減	
売上高	31,183	30,297	886 (2.9%)	流通業 +1,329 一般飲食業 △381	30,830	353 (1.1%)	
営業利益	1,284	1,498	△ 214 (△ 14.3%)	サービス業 △198 商用車架装業 △67	1,300	△ 15 (△ 1.2%)	
資産	36,207	33,014	3,192				
減価償却費	570	547	22				
減損損失	103	47	55				
資本的支出	1,523	601	921				

【対前年】
流通業におけるバスICカードシステム機器の販売や燃料販売単価の上昇により増収となったものの、サービス業における人件費の増加や商用車架装業における部品販売の減少により減益。

14

【訂正後】

セグメント情報（その他の事業）						Kanachu	
単位：百万円							
	2019年3月期	2018年3月期	増減	摘要	2019年3月期 業績予想 (2018年4月公表値)	増減	
売上高	31,183	30,297	886 (2.9%)	流通業 +1,329 一般飲食業 △381	30,830	353 (1.1%)	
営業利益	1,284	1,498	△ 214 (△ 14.3%)	サービス業 △198 商用車架装業 △67	1,300	△ 15 (△ 1.2%)	
資産	36,207	<u>32,970</u>	<u>3,236</u>				
減価償却費	570	547	22				
減損損失	103	47	55				
資本的支出	1,523	601	921				

【対前年】
流通業におけるバスICカードシステム機器の販売や燃料販売単価の上昇により増収となったものの、サービス業における人件費の増加や商用車架装業における部品販売の減少により減益。

14

以上